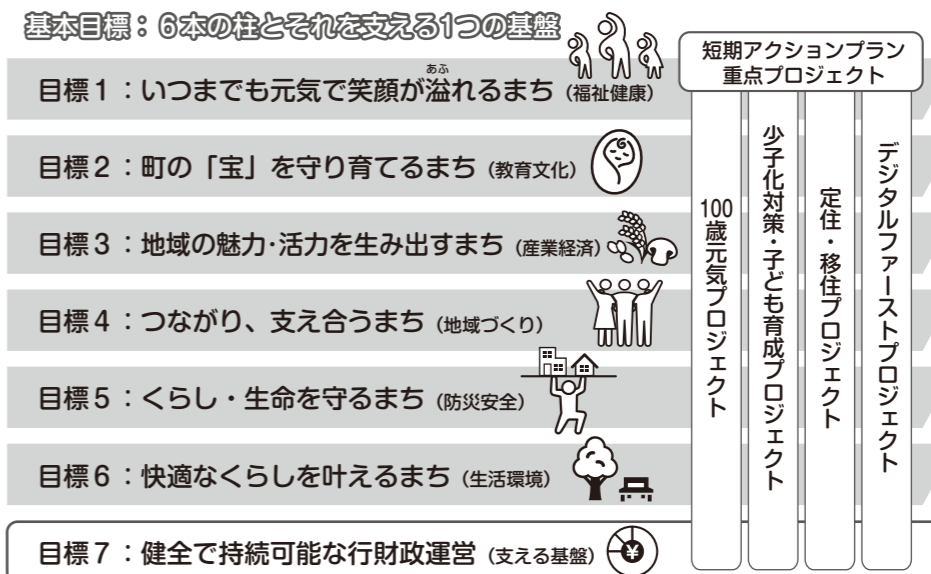


住んでいる人が誇れるまちづくり 「わくわく未来ふながた」 の実現にむけて

令和2年度は、第7次舟形町総合発展計画の初年度として、まちの将来像「住んでいる人が誇れるまちづくり『わくわく未来ふながた』」の実現に向け、「基本目標」と「重点プロジェクト」に沿って、事業に取り組んでいきます。ここでは今年度に取り組む主な事業を紹介します。

第7次総合発展計画基本目標と重点プロジェクト



目標1：いつまでも元気で笑顔が溢れるまち（福祉健康）

ワンコイン（500円）がん検診 [935万円]

町では、一人ひとりに応じた健康づくりを支援するため、国の指針に基づいたがん検診を一律500円の個人負担で受けることができます。

対象となるがん検診は、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんです。

ほかの主な事業

- ・福祉の町推進事業 [1,278万円]
- ・糖尿病総合対策支援事業 [28万円]
- ・高齢者等生きがいづくり支援事業 [16万円]

目標4：つながり、支え合うまち（地域づくり）

地域運営組織の構築と活動支援 [90万円]

少子高齢化、人口減少社会において、単一の町内会では解決できない地域課題の解決に向け、各町内会が連携する「地域運営組織」の構築をより具体的に検討し、住民主体の地域づくりを推進します。

ほかの主な事業

- ・地域おこし協力隊事業 [451万円]
- ・地域づくり総合支援事業 [300万円]
- ・若者活動支援事業 [50万円]

目標2：町の「宝」を守り育てるまち（教育文化）

母子保健推進事業 [521万円]

乳児健診をはじめとした健診のほか、離乳食教室や各種講座を行い、お子さんと母親、その家族の支援をします。

今年度から、産後1年未満の母親の心身負担の軽減や育児の不安を解消するため、助産師さんによる通所または訪問型の産後ケア事業を行い、費用の一部を助成します。

ほかの主な事業

- ・高校生までの医療費無料化 [1,896万円]
- ・日本一の給食食育推進事業 [598万円]
- ・国宝「縄文の女神」関連事業 [240万円]

目標5：暮らし・生命を守るまち（防災安全）

都市防災施設整備事業 [12億8,594万円]

平成30年8月豪雨災害の教訓を踏まえ、災害に強い防災拠点施設および要配慮者が安心して避難できる福祉避難施設を整備することにより、災害対応力の強化と、町民の安全・安心な生活を守ります。

ほかの主な事業

- ・高齢者先進安全自動車購入費補助事業 [54万円]
- ・除雪対策事業 [1億5,372万円]
- ・ハザードマップ整備事業 [409万円]
- ・農業用施設災害復旧支援事業 [6,150万円]

目標3：地域の魅力・活力を生み出すまち（産業経済）

園芸拡大スピードアップ事業 [500万円]

新規就農者の増加と農業者の育成を目的として、園芸作物の新規栽培および規模拡大の取り組みに対し補助を行い、園芸作物販売額の増大を推進します。

また、平成25年～30年にかけて、野菜販売額の拡大要因となった、町独自施策の一部見直しを継続することで、町園芸農業の持続的発展を図ります。

ほかの主な事業

- ・関係人口の拡大推進事業 [587万円]
- ・稲生育管理システム管理業務委託 [264万円]
- ・中古農機導入促進事業 [400万円]
- ・食育・地産地消推進計画策定事業 [183万円]

目標6：快適な暮らしを叶えるまち（生活環境）

孫プロジェクト事業 [1,829万円]

小中高生対象のWAKU WAKU WORKやジョブシャドウイング、大学生を対象とした就転職交通費補助、町内の若者を対象とした若者活動支援の事業などを展開。小中高生へ地域の魅力や仕事を伝え、地元定着につなげます。

ほかの主な事業

- ・民間賃貸共同住宅等建設支援事業 [1,300万円]
- ・移住世帯支援事業 [224万円]
- ・公共交通事業 [856万円]
- ・生活道路整備事業 [100万円]